





決心通作  
痛氣下  
何よりまに  
たに  
たに  
たに



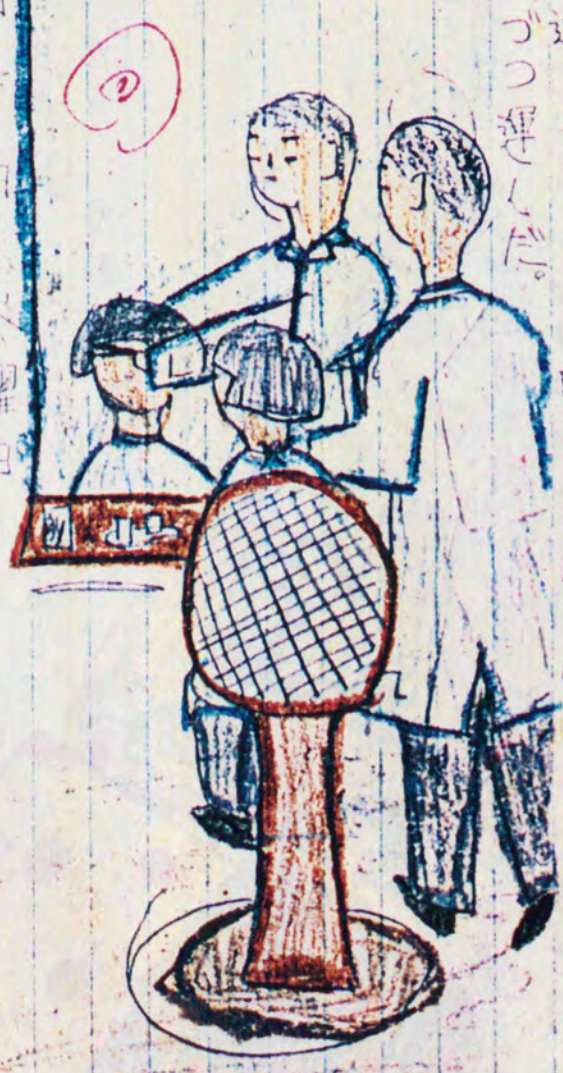
七月八日 日曜日 雨

今日も又昨日の如きはうたいのか、まだ氣持が、  
あるかった。整列のちよつと前に、柳野さんが、茂木  
先生に、歩くところうらうらうする、といったので、先生は、  
「のこつておうつしやい」とおっしゃった。皆んなが、出か  
けてから、柳野さんは、一人おしゃべりをなさつておた  
ぬは、ねむかつたので、少いの間ねた。目がさめると、  
おは様と、まことちゃんがいちやういやって、いろいろお話  
をいた。皆んなが歸つて来ると、足音がよけい頭に  
ひびいて痛かつた。朝食は、いただきたくなかつ  
たので、ずつといただかなかつたが、お書食で、皆んな  
が、學校に行くころ、おなががすいたので、皆んなが、  
出かけてから、柳野さんといた。皆んなが歸つて  
来ると、食事當番の方が、お書食のおごうすいを持つ  
て来てくださった。ちよつと前に、朝飯をいただいたが、  
まだおなががすいておたのでいた。お夕食の時、  
皆んな出かけて行つたが、歸つて来るまでの間が、とても  
たいいうで、長いやうに思へた。 まふふふ



七月九日 月曜日 曇

今日は、一時間めの地理の時間に、利根川を中心とした  
水田や、温泉や、山、湖、川、森などを書いた。四時間めは、  
自修だったので、私は、日記を書いておると、森先生が入つて  
おうつしやて、五年女子は、右測の死がおねぞを、水事場まで  
運んでください。それから、左測の人は、山下寮の玄関の  
おさういをしてください。とあつしやつた。門を出ると、  
四時間めの終りのべるが鳴つた。玄関のおさういをもま  
せて歸つて来ると、すぐお書食だつた。お書食がすむと、  
私は、二屋さんへ行つた。二時半から、國民學校の正門  
で、英霊送りをした。歸りに明日のおもろつきのまきこ  
さかかへづつ運んだ。



今日は、昨夜、空襲になつたので、起床が一時間おくれ、  
七時だつた。お授業は、二時間めから始つた。今日は、午前  
中、前田寮で、男のたいの先生は、おもろつきた。國史の時間、  
飛鳥の都をやさ上げた。自修の時、宮地先生が、今日は、  
十分間日光よきなと、おつしやつたので、私は、



160



所へ歸つて來ると、もうたいていの寮は來てゐた。

やういふお帳面に書ゝたりました。厩工の時に阿音  
先生がいちやうなもので、自筆の





時間自修だった。午後はずっと女子校にゐた。夕食の  
前田先生が、あうつしやった。前田先生は、来月の十四日に  
御出陣なさるのださうだ。もうつけが終つてから、  
さうとう先生の別話があつた。



七月 十七日 火曜日 曇雨

今日は、第二日の授業だが、前田先生が、来月の十四日に、  
出陣なさるので、二時間で授業をやめ、すべに、お昼食  
をいただいた。お昼食後、七号教室で、あわわの式を  
した。それから、すべに校門に、整列をして、驛へ行った。  
驛まで、歩兵のぼんじり、歩兵のぼんじりの歌を宮地先生のしき  
で歌った。それから、ホームへ入つて、又歌を歌つてゐると、  
汽車が入つて来た。汽車が走り出すと、私は、聲をかきり  
に萬歳をさげんだ。

前田先生

萬歳

東京女高師萬歳



いっやうなまーい!

七月 十八日 水曜日 雨曇

今日は、二時間めから、圖書館でお授業をした。  
國語の時間に、炭やき小屋をおぼらした。三時間めの  
國史の時間は、大化のまつりごとをやった。今日で終るので、  
人生懸命にやつた。地理は、濃尾平野附近をいた。  
地圖に、水田、畑、桑畑を書き入れた。午後はお裁縫の  
時間に、下ばきをぬつた感想文と、かた紙のたちすと、物販の  
洗ひ方をぬら半紙に書いた。本を見て見ると、かた紙の  
たちとの所を少しまちがへてゐた。それから、皆んな前へ  
つめて、五年女子の級會をした。その時に、反貧會をした。  
いろいろな注意があつた。圖書館のおさういをして、歸つ  
て来ると、もうお夕食だった。



七月 十九日 水曜日

今日は午前中、お餅つきなの、たいていの時間は、  
自修だったが、算数の時間だけあつた。他の自修時間は、  
昨夜、石田先生にさし上げる、福光へ来てからの生活を、  
作文に書いた。ぬら半紙をいたしたので、それを書いた。  
起は、四月十五日、こちらに来てから五日めの、始めのお祭り  
の日のことを、頭の中に、思ひうかべながら書いた。  
それかすむと、先生にさし上げる物を作った。きせかへ、  
ぬり繪、おり紙などを入れた。私の作ったしをりも入れた。







A simple, sketchy drawing of a group of people. In the center, a man wearing a white shirt and a tall, light-colored hat holds a framed picture of a person. To his left, a woman in a patterned dress and a dark jacket looks towards the viewer. To his right, another person is partially visible, wearing a light-colored shirt. The drawing is done in a simple, expressive style with some red marks scattered around. The background is plain white.

藥草取りではなくでいちご取りになつてしまつた。





としても頭が痛くなったので郡先生にいらすと、目影で休んで  
 ぬらついでい。とおついでつた。少し休んでから又歩い  
 た。郡先生が、ハンケチを水にひたしてくたさつたので、  
 それを、頭にあてた。うとて、あつた。あつた。あつた。  
 で、長い間休んだ。少しうとて、あつた。あつた。あつた。  
 びたがおもく、はなをが切れさうだつたので、山口先生  
 がげたをかへてくたさつたので、やつと、歩きよくなつた。  
 白い門のやうな所で皆んなが休んでゐたので、やつと、  
 おひついて、列の中へ入つた。途中で、何度かおくれさうに  
 なつたが、一生懸命に歩いた。午後、前田寮に歸つて、  
 お晝寝をした。

ズグググググ



七月二十六日 水曜日 曇、午晴  
 今日、朝のうち曇つてゐたが、あつた。あつた。あつた。  
 図書館でいた。二時間めから始つた。三時間めに  
 國史の、奈良の都を、お習ひしてゐると、半鐘と、こいれん  
 が鳴り出した。宮地先生が、首を長くおのばしになつて  
 へんな顔をなさつたので笑つてしまつた。地理は、琵琶湖  
 をお習ひした。午後、日記を書いてゐると、先生が、食事  
 當番は、大皿を持つていらついでい。とおついでつたので、食事  
 當番の方は、大皿を持つて行つた。あつた。あつた。あつた。  
 いた。



七月二十八日 土曜日 晴  
 金曜日 晴

國語で、ぼくの子馬をやつた。今日で終つて、この次は、星の話  
 をするのだ。午後、お晝食をすませると、大急ぎで、前田  
 寮へ歸つて、お晝洗ひを、お晝洗ひだつた。出た汗を全部  
 流し、下着も取りかへ、頭も洗つたので、とてもさっぱりした。



今日、昨日に負けぬよいお天気だ。午前中、五年級上、  
 四年級下にあつた。小矢部川の兩岸を下流の方へ  
 げんのしようこを取りに行つた。始めの内は、あんまり  
 なかつたが、まん中へん、沢山ありすぎ、困つてしまつ  
 た。いちごも少しあつたが、この間より、いゆくしてゐた。  
 皆んなは、下流の方で、あつた。あつた。あつた。  
 うりかへ行かずに、沢山ある所で取つてゐた。午後は、  
 前田寮に、歸つて、お晝寝を  
 した。それから、いりふをいた  
 だいた。

どうも、行きたつた。





七月二十九日 日曜日 晴

今日は全校鍛練日。運動場は、兵隊さんがお使ひになるので、兵隊さんが来るまで、といふことになった。始めに、しうるいきうをした。私は白だ。始めは、白の方が勝つてゐたが、どうゆうわけか、白の方が負けで来た。たうたう、さい後に、白が負けだ。ぐんぐんだが、いかたかた、こゝ度は、勝たなくては、と心の内で思った。全体やめがかつて、十分間休けいになった。こゝ度は、おしくうた。石田先生に、教へていただいた。あのやり方で、うんとやろう。と思つた。細田さんも、國行さんも、とてもよくがんばつた。もう少して、私といふと、そこに、警告戒厳言報のさいれんが鳴り出した。お授業は、三時間めからやつた。三時間めは、國語で、星の話を習ひした。四時間めは、てんらん會を見に行つた。どうだとか、あぶら繪、きれいな箱などがあつて、とてもきれいだ。お部屋の真中に、はきれいな、お花がござつてあつた。午後、前田寮へ歸つて、お晝寝をした。それから、有賀先生と、茂木先生が作つてくたさつたおだんごをいただいた。夕食後、小矢部川へ遊びに行つた。



七月三十日 月曜日 晴

今日は、休養日だ。午前中、お風呂のまきを運んだ。そして、お家の方がくたさつたトマトを一本づつ、自分のをさめていただいた。私は、向かつて、左の役で、三本目だ。それから、久しぶり、いきぶとんを舞した。午後、前田寮に歸つて、ふとんを取りこんだり、お部屋のおさうじをいたした。私は、おさうじをした。

七月三十一日 火曜日 晴

今日は、第一日めの授業をした。地理は、京都盆地と、奈良盆地を、お習ひした。國語は、夏といふ詩を書いた。國語は、制本圖を書き上げて、お點をつけてみた。私は、平行線がよく出来てゐなかつたので、良上だつた。午後は、入浴だつた。とてもよい氣持だつた。夕食後、お野菜運びをした。きりり入参、お葉なだつた。私は、野村さんと、きりりを運んだ。とても、おわかつた。一度めは、運ばされた。二度めは、前田寮に持つて歸つて、明日運ぶことにした。





八

月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

きみとぼく  
かがみの前で  
色くらべ



八月一日 (水) 晴

朝、校へ行くときに、昨日のあまりのお野菜を運んだ。  
朝會後、八月の班長人名式があった。私達の班長は柳野  
こんだつた。一時間めは、國語で夏の詩のつづきを書いた。  
二時間めからは、まさ運びをした。山下寮の門の所に、あ  
るのを、女學校のよこに運んだ。だいが運んだ時十分間、  
体けいがあった。こいどは、かいたかなったので、二三回運が  
と、もうなくなつた。夕食後、矢部川へ行つて、遊んで  
来た。有賀先生が、明日のつがふで、泳がしてあげませう。  
とおつちやつたので、とてもうれしかった。早く明日に  
はうなにかたあと思つた。

夏

一、あさぎはが  
につり矢つて  
咲いてゐる。

二、子どもたち  
聲だけ聞ける  
せみをあひひく

三、水遊び  
たのしく遊び  
めきあふ。

四、水泳に  
むちふになるのを  
母がよぶ。

五、きみとぼく  
かがみの前で  
色くらべ



五年き子  
大澤季子



八・月三日(金)晴

二号牧室の黒板に、永泳は、五元男だと書いてあるのを見て、  
私達は、入れないのが、うまうないな、と思った。今日は、喜門先  
生が、まきの屋根を作つてゐうつしやるので、大部分は、  
自修だった。喜門先生が、自修の時に空襲の夜といふだいの  
つづり方を書きなさいとお願いしたので、それを書いた。  
お昼食のちよつと前に、やつと書けた。日記を書いておると、  
所澤さんが、お昼御飯だよ。とよびに來た。

午後、私達も氷氣が出来ると聞くと、とてももう氷しかつた。小矢部川へ行くと、五六男はもう来て泳いでゐた。中へ入つてゐると、とても氣持がよい。先生に、一人づつけんさしてゐただいた。思ひきつて、泳いで見ると泳げた。うれしい。こゝろでは、もぐりっこをした。歸る時に先生が、あすれ物のないやうになさい。とおつしやつた。

八月九日檢

セロにもうきたよ。ーあー  
 びん／＼いゝ話に  
 まりたわ。

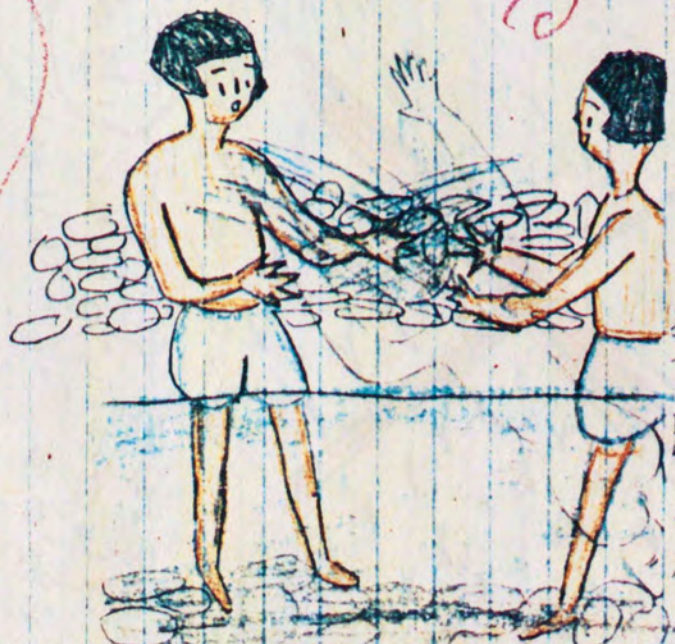


八月三日(金)晴

今日から水泳開始だ。授業は、三時間めまでで、四時間めにお昼食をいただいた。午後には水泳だ。今日こそは、わつと泳げるやうにしたいけれど、おぼろげな川原へ行った。何気なく、首へ手をやると、眞実がな。おやと思つてよく考へて見ると、昨日、忘れたのだ。一べん入つてから見に行つたが、な。いつまでたつてもないので、しがたなく歸つて来て、川の中へ入つた。面がぶりはつきり、つまらないので、平泳ぎの練習をした。寮へ歸つてから、いり米をいただいた。夕食の前に、水。三部五年の、カケツコ萩原さんといふ方が、いうつしやつた。

八月四日(壬)晴

今日もよいお天気だ。今日は午前中水泳なのぞ、朝會後、山下寮の前の川で足を洗ふとお教室へ入り、水泳の用億をして、吉波寮の前の川原へ行つた。今日は水泳競走みたいたいのをやつた。始めは、ばた足をした。五年女子は全部出たが、萩原さんはお出にならなかつた。私は、用億どんで泳ぎ出して、息がくるしくなつたので、





顔を上げると、ぐくぐくと沈んでしまった。はっとすると何先生かの手が体にさばった？私はその手につかまらず、二へ上つて見ると、阿部先生だった。さう後に、神谷さん、三木さん、秋葉さん、向笠さんのお兄さん、弟さんで、ぐるぐる、壁をかきながら平泳ぎで、何べんかまはつて、終りになった。午後は、お晝寝をした。夕食後、軍歌練習をした。明日の早起き、行軍の時の歌の練習だ。あんまり大きな聲を出したので、聲が、かれてしまった。

# 軍歌練習

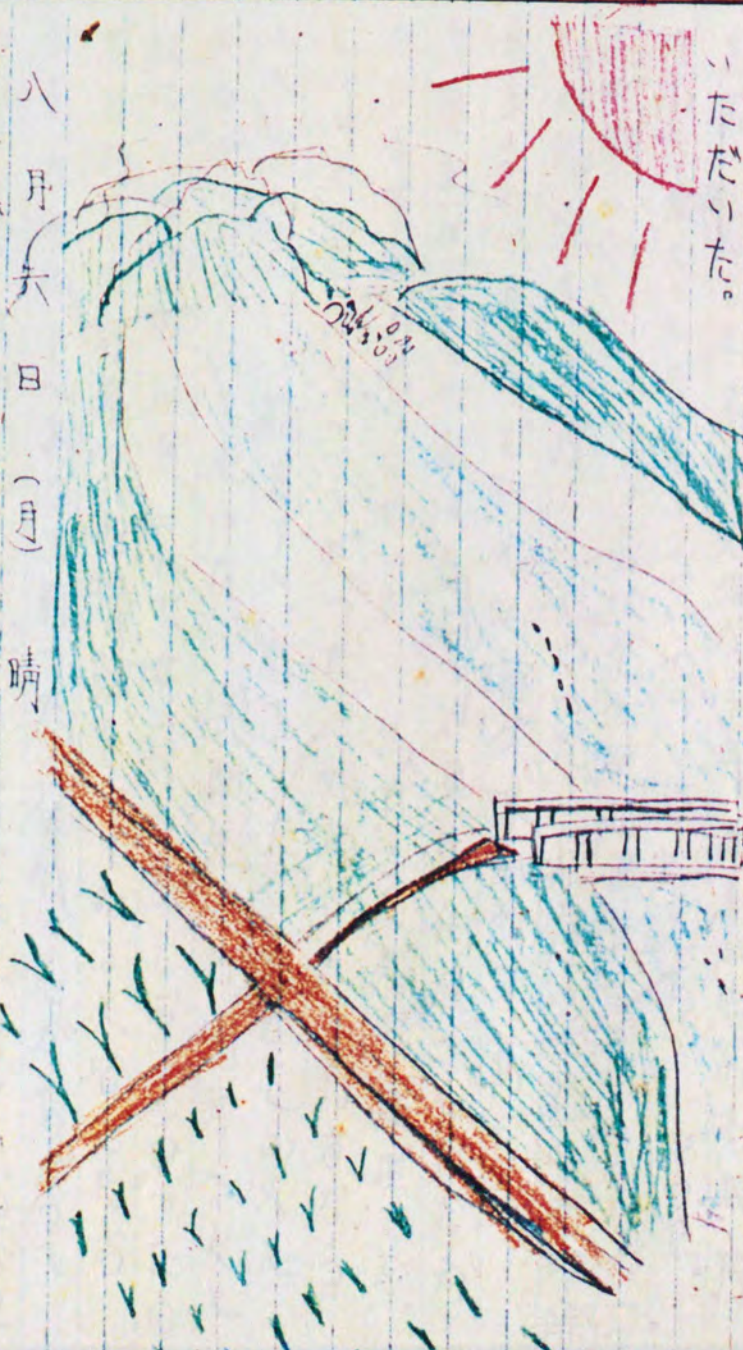


八月五日 (日) 晴後曇

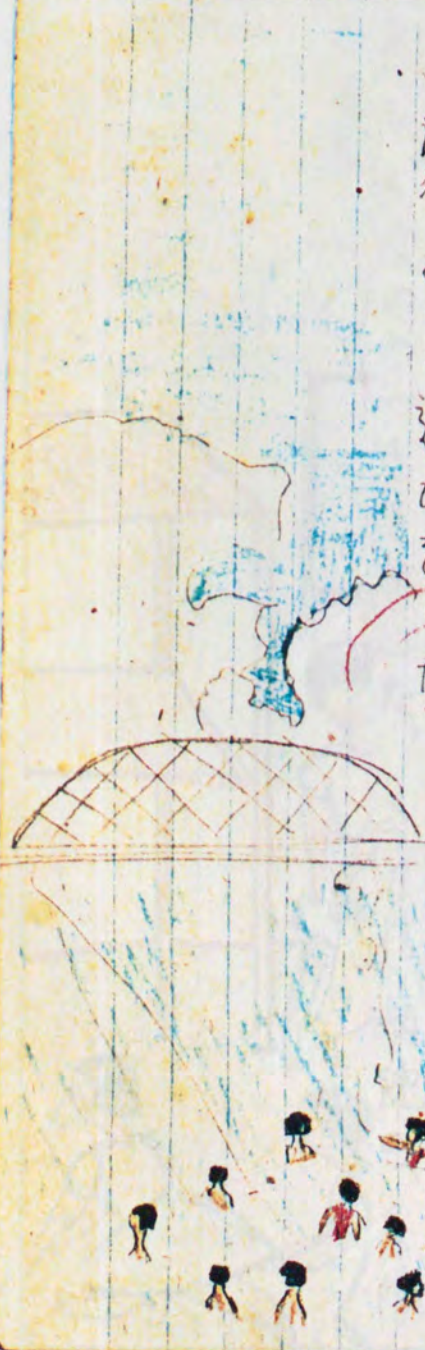
今日は早起行軍だ。起床は、四時半で、お掃除もかんづまらつたので、洗面だけして、お風呂さうなので、急いで、社前へ集合した。中村寮で、阿部先生が大きな聲で、「おーい、今、行くぞ」とおっしゃった。皆んな、そろそろと、参拜や、体操をすませて、出発した。道の両がわに、色々な、きれいな花が咲いてゐた。すずい風が吹いて来る。橋につくと、阿久澤先生が、向かふに見える。森の、もう一つ向かふの森が、安行寺です。とお話になった。それから、二十分間休憩があったが、

つがいで十分になった。歸るころは、もう日があつてゐた。歸りに、寮によつて、食器と自修の道具を持って、學校へ行つた。午後は、水泳だが、曇つてゐたので、寒かつた。今日は、少しか入らないで、出てしまった。寮に歸つてから、いり米をいただいた。

八月六日 (月) 晴



朝食後、おいも、彈びをした。七は、い軍のた。午前中は、水泳なので、おいも、彈びがすくから、中村寮の前あたりまで、行く。と、警戒、警戒、警戒になったので、かけ足で、學校へ歸つた。少ししたと、おいも、弾びになった。今日、泳いだ所は、福光橋のそばだった。午後、お晝寝をした。夕食後、おいも、彈びをした。





八月七日 (火) 晴

今日は午前中、先生方が御用があるので、私達は目修だった。私は日記を書いた。お晝食後、寮へは、とて、もうれしかった。寮に帰ってから、荷物の整理をした。三時に、学校へ行った。ざやがいものお八つだ。とてもおいしい。すんでから、講堂のお掃除をした。私は、帚で、はいた。とてもきれいになった。さっぱりした。それから、少したつて、講堂で、藤本校長先生のお話があった。かへでのお話も、日本は、町が中心となつてゐるのではなく、ちやんとした根が町をとりかこんで、どっしりとした体でかまへてゐるといふことを、お話してくださつた。私は、このお話を、お聞きして、もつと、日々の暮る方を正しく、りっぱにして行かなくてはならぬと思つた。



八月八日 (水) 晴

今日は、大詔奉戴日だ。お宮の前で朝食後、朝會にひきつづいて、奉どろしきがあった。お教室で、慰めん文を書き、お晝食後、有賀先生が、五年生、本田寮のお掃除のお手助けをしますから、いっしょにやりました。本田寮へ行くともう宮地先生や、加藤先生がいらつしやつて、お掃除をしてゐるやつやつた。私達は二階のお掃除をするので、あがつて行く。二階が、山あいてあつた。有賀先生が、この家は、ちよつと見て、何屋さんだかあかりますか。とおつちやつた。佐竹さんが、この服屋さんといふと、やつぱりさうだつた。始めに、大きな方が、五人、下へ行つて、箱を下へ、おろした。ゆかが、びか／＼光つた。興助先生が、河井さんと私に、ごこの部屋を、二人で、はいてくれ。とおつちやつたので、となりの部屋の、お掃除をしてゐると、皆んな、お茶を、のみに、下へおろして行つた。佐竹さんが、あがつてゐるやつやつて、あがつてくたさつたので、下へ行つて、お茶をいただいた。お掃除が、だいたひ終つたころ、茂木先生がお晝御飯です。よ。とよびにいらつちやつた。私達は、すぐに、並んで、学校に行つた。お晝食をいただく前に、ほこりで、おれでゐるので、顔や、手や、足を洗ひ、口をゆすいで来た。午後は、前田寮に歸つて、慰めん文のつづきを書いた。今日は、病院の、兵隊さんだ。





十月

だつた。



晴





八月十一日 晴、午後晴

今日は午前中、各組作業で、午後は水泳だ。お達は  
がやがいもの手入だった。くさったのを取って、下にある  
のをひっくりかへすのだ。お達は、一号教室のものをやり、  
それから、二号教室のものをやった。それがすむと、私は  
日記帳とランプを持て、お宮の方へ行った。運動  
場には、兵隊さんが沢山いらった。警戒警報に  
なつたので、急いで歸つて来て、国民学校の前で、八百谷  
さん、萩原さん、野村さんと、ランプをした。それから  
日記を書いた。兵隊さんがのぞくので、はづかしかつ  
た。お昼食は、おなががベニー。だったので、とても  
おいしかった。午後は、水泳で、三時に、おやがいのもの  
おやつをいただいた。二

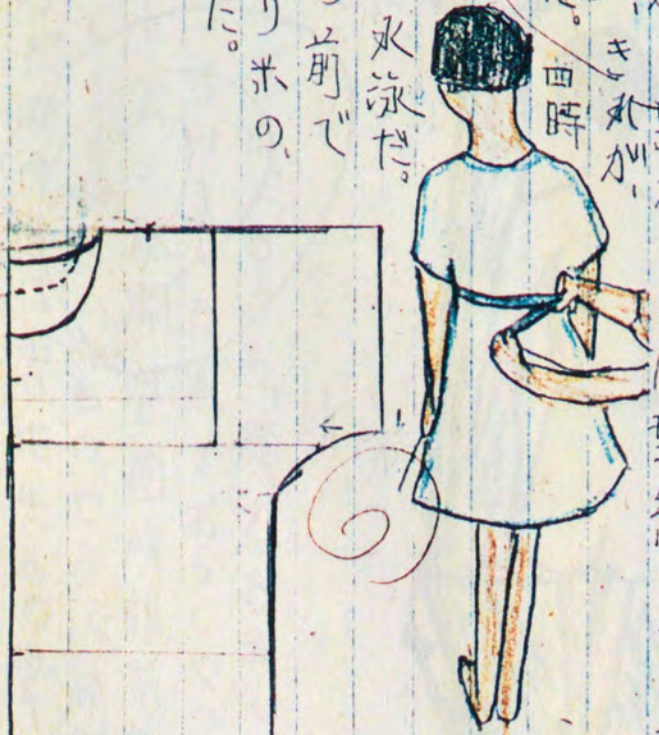


八月十一日 晴  
今日は、第一日めの授課だが、午前中は、全部自修  
なので、一時間めに、お裁縫をやった。今日から、五年  
生の本に入った。シヤツの、お裁縫の取り方や、方々の、  
名前や、どんな、ミシンがよいかなどを、お習ひした。  
お裁縫がすんでから、私は、日記を書いたり、本を  
読んだり、ランプをしたりしてゐた。午後は、

水泳をしたので、野村さんと、ランプをして遊んだ。  
夜、お田寮に歸つてから、先生が、いりなほして、くださつ  
た、いり本をいただいた。たべると、こり、音がして、と  
てもおいしかった。



八月十三日 晴  
今日も、午前中は、だいたいの自修だ。一時間めは、四年  
生が、お裁縫なので、私は、日記を書いた。二時間めに  
お裁縫をやった。今日は、型紙を取った。胸まは  
りもはかった。早く、お裁縫が、  
同じだった。早く、お裁縫が、  
来れば、いいと思つた。四時  
間めのお習字は、  
一べん書いて、始つて  
しまった。午後は、水泳だ。  
今日は、吉波寮の前で、  
泳いだ。三時に、いり本の、  
おやつをいただいた。





八月十五日  
(水)  
晴

?



進歩よりよく見之るす。日本は負けまゝ

275.

入月廿六日(水)晴



河たか今日は宮地先生の聲が



いつもとちがふやうに思はれた。私は、こはんを、ま  
全部たべ終つてゐなかつたので、いただいてゐた。

今日の情報、日本が、英、支那、ソ聯にたいして、  
さういふことをしなけりなうたくなつたことだつた。  
それについて、宮地先生はさういふことをお話になつた。  
天皇陛下は自分はどうなつてもよいから、  
國民をたすけたいといふことをお聞きさ。

すると、決が後から

私は、御飯をたべるのも忘れて、  
戦にやぶれた日本を、立て直すのだと、私はかたん  
かたん、心にうかつた。朝倉後、私は、前田寮に、  
る風呂のまきを運んだ。歸つてから、蘭子校中で、  
大東亞戦争終結の大詔を拜して、いふ感想を

書いた。午後は、前田寮に歸つてお風呂と髪  
を洗ひだつた。する前に、先生が、皆んちを、呼んで  
いうつしやいとあつたので、私が、下に、皆んち  
を、呼びに行つた。青い水に、米を入れたのと、お菓子  
とお風呂から出て、  
下着を洗つた。

今日、  
ソリをせんね。  
もう、他は、  
八月十七日、  
（金）晴



今日は休養日だ。午前中、お洗濯をした。  
たまつてゐたので、中々出来なかつた。洗濯石けん  
がないので、浴用石けんを使つた。お洗濯が終つ  
てから、小林さんと、はり板と、箱をかたづけした。

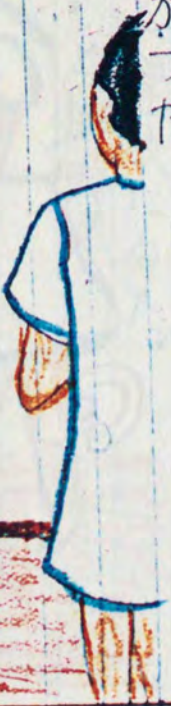
午後は、お洗濯をした。お洗濯がすんでから、  
するめをいただいた。



今日は、午前中、ずつと寝た。私は、日記を書いて  
ゐるうちに、眠くなつたので、眠つてしまつた。ふと、  
だれかの、大澤さん、  
ま、す、野村さんが、大澤さん、面會、兵隊さんよ。  
といったので、びつくりして、階段の、を見、兵隊さん  
が、立つてゐた。茂木先生が、さういふ、うつしやいとあつ  
しやつた。私が、兵隊さんの、そばへ行く、と、さういふ、  
こつちへ来て、くださ、とあつたので、さういふ、下へ行つ  
て、出入口の、涼しい所へ行つて、お話をした。私は、知  
た。兵隊さんは、西出さんといつて、前、お店の小使さん  
の家、に、しばらく、御やつない、なつてゐた方ださうだ。  
今は、城端に、いらつしやつて、お店の久さん（小使さん）の  
家が、そばなので、今、行つて来た、歸りださうだ。



おいしかった



5

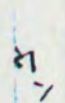
おると、先生が「葉書」を買つて來てちやうたんとて

12



晴後雲

それから、寫眞を見て





八月二十一日 (火) 晴後雨後曇

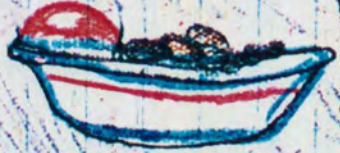
朝會の時(組)を入れた。久しぶりにやったので、とても面白かった。今日は第四日めの授業で、図書館だ。今日は疎開してから、皆さんは一年めだが、私は、約半年だ。日記も書けたので、トランプをした。八戸谷やうさへや、野村さんと、勝主めくりをした。八戸谷さんと女学校のお手洗から帰って来ると、十一時三十五分だった。で、図書館へ行って、歸る仕にくをした。午後、ずっと學校にゐた。

私と、岩田さんと中根さんと、柳野さんと、佐竹さんで、お炊事場で、おなすを切ったり、洗ったり、お豆をいったりした。柳野さんはおなすを切っていて、手を切ってしまった。私も切って見たが、切れなかった。お夕食の時は、澤山御ちやうどが出た。私達の切ったおなすも出た。お夕食後、兵隊さんの飯島さん、北原さん、村山さんといろいろなお話をした。寮に歸ってから、水飢をいただいた。今年始めてだ。久しぶりなもので、とてもおいしかった。



八月二十二日 (水) 晴後曇  
今日は、私達は、自修ばかりなので、授業道具は、

持って行かないで、食器だけだった。朝、集合になった。ぶつかりの時に、有賀先生が、天澤さん、やなぎさんのときろへ、こゑを、今、持って行つてちやうどとあつて、少した紙をくたさつたので、私は、ぼう子をかぶって外へ出ると、かけ出した。途中で、中村寮にあつた。朝會がすすんでから、前田寮に歸った。そして、皮くつに入れた。ある箱の整理をした。箱の外、中にあつた下駄を、はけるのは、はけないのと別にして、はけないのは、たきつけにした。それから、私は、黒いくつをみがいた。小林さんの、野村さん、の、旗谷さんの、をみがいた。私は、特別に、きぬに、みかいた。それから、髪を洗ひをした。午後は、お風呂に入つた。お夕食後、前田寮に歸つて、トマトと、カンパンと、大豆の、いったのを、いただいた。この、トマトは、東京の、トマト、おいしい。



東京、トマト

八月二十三日 検

十六日の日記のやうに、大澤さん、かんりして、アエリ、皆、うわに、期待と、うけ、を、おろす。辛、い、と、苦、い、と、之、が、度、を、う、り、て、あ、り、す、それ、と、集、り、回、る、わ、い、い、





八月二十三日 曇雨

今日は休養日だ。めづらしく朝食がすむと、ぼつぼつと雨が降り出した。一度、寮へ歸つたが、五年生では阿部先生が私達の下駄箱を叩いてくれた。その板を運び、中へ入ると、女子校へ行った。歸る途中で雨がござあつた。一時に荷物の整理のできるやうにして歸つた。荷物の整理のけんさがあるの、荷物の整理をした。阿部先生は下で下駄箱を叩いておつた。十一時過ぎると、けんさがあつた。出発の前に、下駄箱が出来上つたので、私方をきめていた。くつし、ごうりを入れた。下駄箱はいつもの所に並べておいた。午後は、自分用の日記を書いた。雨の葉書を書いた。降り出したので、大氷になるかと思つた。お夕食の時、おぢやがを、二つづつのこして寮に歸つて、おぢやがを、二つづつのこして。

下駄箱が出来て  
うやうやしくね



八月二十三日 曇

今日は、第一目の授業だが、授業は三時間めの圖工だけあつて、あとは自修だ。圖工の時には、お宮の前で、小を中として、いやいや書いた。四時間めは、さつき書いた。皆んなの日記のつづきを書いた。お夕食の時には、字だけ書けた。午後は、野村さんによはせると思ひながら、ふせてゐると、へんなの、よく見ると、はんだいを書いてゐたのだつた。午後は、はんだいに書いたのを、はほして、それから日記を書き、ドラムをした。お夕食の前に、東京の十五、十六、十七日の新聞を、三輪さんに見せていた。



八月二十五日 曇

朝、女子校へ来て見ると、阿久澤先生が歸つておつた。しやつたので、今日は、國史だけ自修で後は全部あると思ふ。うら。一時間めは、國語だつた。地理の考査があつた。一は、主な山脈を書き、それらは、どちらの方向に向いてゐるか。二は、濃尾平野と、關東平野の似てゐる所。三は、表日本と、裏日本の氣候のちがひ方。だつた。



②

(日) 量役 晴

今日は圖書館で、第三日めの授業をした。  
算数は、馬力をかけて進んだ。今数を小数にな  
ほすのだった。國語は、遠泳をした。國史の時  
間は、地理をやってしまった。奈良盆地をお習ひし

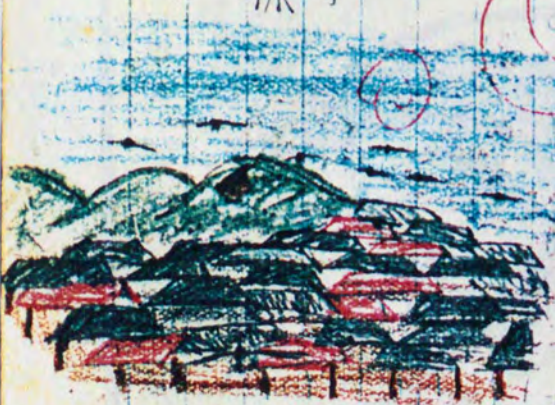


たのび弟を

今夜か  
う、茂木先生が  
アルプスの、山の上の娘と  
いふ本を讀んでくださる。

(月) 日

朝會の前アメリカの飛行機が飛んでゐた。とても  
もひくく飛んでゐた。校舎の屋根をすうくくにも  
飛んだ。私の心の中は、にうい／＼氣持でいっぱいだ  
つた。朝會が長くなつたので、授業は二時間めから  
始つた。圖工で、寫生をした。國語は、遠泳を  
した。理科は、星をお習ひした。  
午後は、ずっと國學校にゐた。眠く  
なつたので、お晝寢をした。  
風が吹いて、とてもいい氣持だつた。  
夕食後、早く寮に歸つて、ほこり  
が入つてしまつていたのでお掃除  
をした。





火  
晶時方晴

朝會後、歩くけいこをした。一時間めは音楽で、海を  
お習ひした。國語は昨日のつづき、遠泳をした。  
算數と理科は、つづけて分數と小數をなはすの  
をした。午後は、お風呂と、髪洗ひだった。お風呂  
は、班からなので、私達は髪洗ひをお風呂の中で、  
お風呂から出てすぐに、氷をいただいた。今まで、  
お風呂の中で熱く、たまらなかつたのが、外から入  
って来る風と氷のすめたいので、とても涼しくなった。  
かいたつてから、カパンをいただいた。



八月二十九日 (水) 晴後小雨後晴  
今日は休養日だ。朝會の後昨日のやうに歩くけ  
こをした。すぐ寮に歸つて、日記を書いておると

先生が、洗濯のある人は、少しはさことあつしやつたので私は、下着と下はきを二枚洗つた。洗つて階段をちやうどあがつた時、もうとうがかがつたので私は、あけもあけがうずに、もうとうをすいた。カンパンをいただくのだったので荷物をぐつとかたづけると大急ぎでいただいた。しばらくたつと、出発申儀になつた。

に書いた。午後、日記を書いて、今週の分の葉書を家に書いた。

八月三十日 (未) 晴收曇雨

第一日めの授業があつた。今日の時間表は、地理と英語算数だ。朝會が長くあつたので一時間めが短くなつた。まうがへて、一時間めに國語をつてゐた。十六分たを行くをお習ひした。二時間めに地理をして、神戸大坂をやつた。先生は、阪神地帯は、重工業地帯だから

うがふが、大阪、神戸は、さかんに  
てつた。圖工は寫生だ。算數は、  
小數の、わり算、かけ算、を  
し後は、算數のしゆくたいが出  
たので、それをした。四十四頁と  
四十五頁で、四十四頁の方は、し  
やさしく出来たが、四十五頁は、頭  
こんがらがつて、中々できなかつた。  
それかう、日記を書いた。夜、寮  
に歸ると、私に小包が來てゐた。  
下着と、お茶と下ばきと、ハブラ

大阪  
湾





返した。

八月三十一日（金）

今日は午前中、二日めの授業をして、午後は寮宿の清掃をした。私達は図書館なので、朝會がすむと、雨の中を図書館へ行った。一時間めは國語で、海産を行くを、しうべたり、暗いやうをした。國史は宮地先生がいうついやるかと思ひながら、日記を書いてゐるのに、三時間めの算數になつた。四時間めのお習字は、エ夫、カ作完成をやつた。午後は、寮に歸るとすぐに清掃とんを始めた。荷物を全部出し、掃いた。私は一番後になつたので、入急ぎで、かたづけした。それから、するめと、カネパンをいただいた。日記を書いてゐると、出發用紙になつた。今日は、最後の日なので、二号教室のお掃除は、五年生がやつた。



九

月

さあ  
今日から

二期だ

うんと  
がんばろう！



けいさつな  
あつた  
そう





てしまひさうな道だ。今日は九月一日なので、私達の  
お掃除をする所は、變つて、四年生で、階段と廊下の  
お掃除だ。日月火が、四年生で、水本金五が五年が、  
お掃除をする事になった。五年生は又、その中でも  
二つにわかれ、永木は左列、金五は右列がする事に  
なつた。今日は、土曜日なので、右列の番だ。私達は  
運動場で、まっつゝゐた。寮に歸つてから、カンパンを  
いただいた。急いで、たべて、それから遊んだ。始め  
に、「デニボウ」の遊びをした。二組に分かれて、水をか  
一人が親になり、相手に聞へないやうに小聲で、こ  
こやきあひ、早くて、まちがへのない方が勝ちだ。私が  
親になつた時は、(親がめの)上に、子ぐめ、子ぐめの上に、  
まごがめ、まごがめの二に、まごぐーがめといふのをした。  
とてもへんになつてゐたので、  
音んな、どつと笑つてしまった。  
その次は、お金まはしをやつ  
た。今免は、とても面白かつた。

今日ハ、  
寒ッツタノデ  
音ナ  
モニベヲハイタリ、  
長ッデモキタリ  
シタ。



9.



丸  
月

二

通

雲後晴

今日は全校鍛練日だ。全校鍛練は九時が  
まで行進のちけいこと  
すきまで各組運動  
まで体操と行進とい  
てすぐに行進になっ  
しめながら歩いた。  
跡で五年と六年にあ  
のお描圖でやった。  
二十點で派の時とな  
り白が勝った。その次  
んにも二人とは、負  
にさういふアメリカの  
頭上を飛びさって行  
としてくやしがつた。  
力め、今かうして、カ  
ウニキウヘニウルイキ  
をして、心をみがいてあ  
て、きつと日本を建て  
まげてやり、この頭上

雨が降った後なので、運動場は寒くもないうちやうかよいお天気が始まった。九時から、九時三十分替採・九時三十分から、十時三十分までから十時間休けい、十一時三十分になった。かゝるく体操をした。一歩一歩、力をいれて、ふみ各組運動動は、五六女、しうらいか飛で、五年生は、阿久澤先生始めはあが赤で、三十點とつた。次は白になつて、やつぱは又赤になつた。が、ごんぬいた。やつてゐる最中にあのB29が、ゆうゆうと、私達のうた。先生も私達も、盛ざしり今に見ろ、にくにににいアメリイセエだの、オスマウだの、ヘトウエエやっで、体をきたへ、勉強なる私達が、やがて大スミナつなほも、あの高い鼻をひんを歩けたくしてやるのだ。

今に見る  
私の心は、もえ上つた。  
行進と同じやうたう  
寮へ歸ると私は、今  
も、目かきめると

にだいた。とても  
にだいた。我水  
穿入獅子校に來た。



九月

三  
日

(月)

雨後曇雨

今日は第四日めの授業だ  
國語理科で一時間めは自  
習のおとづれをお習ひした  
する。二時間めは寫生をし  
この次からは、るゐのぐを使  
午前中、三時間だけ授業を  
いただいてから理科をした  
午後、今度は今度から時間  
間表を易したり日記  
たりした。寮に歸る前

時間表は算數圖工  
 だつた。三時間めは  
 明日は全部書きを  
 出来上つたので  
 して寫まだ。今日から  
 とするのて、お晝食を  
 カビをお習ひした。  
 衣ががゐるのでその時  
 と書いたリ、トランプをし  
 ぬに、藥書をいただいた。



カビ、  
生エオ



九月四日 火 雨

今日は、第五日めの授業をした。一時間めは音楽  
なので、音楽室に行くと、女學生がどやどやと入っ  
て来た。今日は、女學生が、使ふので、私は、二階へ上  
つて自修をした。二時間めは國語で、秋のおとづれ  
の全部書きをした。算数は四捨五入を、お習  
ひした。思ったより、やさしかった。午後は、  
理科も、お裁縫も自修だったもので、ずっと、おタ  
食まで、日記を書いたり、トレーニングをしたりした。



九月五日 (水) 晴

今日は、安居寺方面へ行軍だ。起床になった時は、  
曇つてゐて、行軍が出来るかどうか心はいだつたが、  
女學校で、お朝食をいただいたいてゐるころは、もう日  
があたつて来た。朝食後、中川さんと、小林さんが、す  
が笠を取つて来てくれた。今日は、上原さんが、リン  
パセンがはれて行けないので、私のあとには、八百谷  
さんだ。一ヶ月前の今日、来た橋の手前まで休憩し、そ  
から、安居寺へ行つた。安居寺のふり前は、西野尻農  
業會といふ前を通つた。歸りは、こゝで、お野菜をい  
ただいて歸るのだ。二王門には、二王様が、こゝにい  
て立つてゐるやつだった。拜禮をすませて、かう、宮  
地先生に、この、安居寺について、いろいろ話を、お聞  
こした。安居寺は、均三百年ほど前に作られたもので  
この越中の國の殿様は、前田といふ  
殿様が、いふつしやつて、ふとしたこ  
とから、御病氣になり、中々なほ  
らなかつたのが、この御本尊に  
おぬがひするところなほつてしま  
つた。ちやうどあれは、てゐ  
たので、建てたほした。この  
社の奥には、觀音様と、お地  
う様を、安地申し上げてゐる。  
お話最中、にはえがうる  
さくて困つた。ロビルの所  
に止つたので、ふつと息をはくと  
飛んで行つて、となりの河井さ





A drawing of a slice of watermelon. The slice is triangular, with a green rind and red flesh. It is sitting on a blue and green base. The drawing is done in a simple, childlike style with visible pencil or crayon marks.

晴窗月夜

今日は休養日だ。朝會をすませるとすい、  
寮に歸つた。さうして、この前のつづきからお風

すまじふしすい  
町のつづきからお風

(水) 晴時々曇



さしあかも次ひ逐した。とてもさつぱりして氣持がよつた。  
夕食の時は、茂木先生が御病氣になつたので、何となよさび  
しがつた。寮に歸つてからさうき<sup>な</sup>なつた。食器袋を見て  
残のうにすればよかつたなと思つた。さうに今夜は  
もう出来ないから明日學校でしやう。  
郡先生がいつしやて、アルプスの山の上の狼の森  
を讀んでくたさつた。

白雲  
勝  
尺  
雨

今日から新しい時間表の第一日めだ。主にもう使へなくなつた赤い箸のうのちを取り、それをも食器袋につ

けやうと思つて持つて来た。食器は朝倉宗茂に出発した。とて、もう此しい。お達は今日には圖書館だ。一時間めは地理で、この間のつづきの紀伊半島をお習ひした。志摩半島かう神宮にかけ、その海岸はリアス

式海岸だ。面白い名前だねと私は思った。三時間めは算数で四十九頁の分題は自修だった。

を小數になほして、その五を四捨五入した。全部出来た人は、しうくだった。私はあまうした。

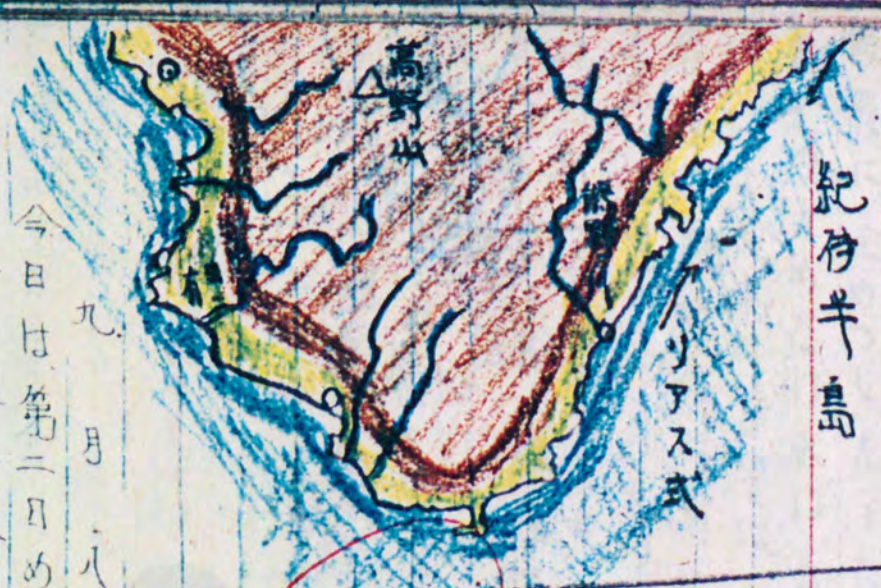
午後、四十九夏ののこりをしてから日記を書き  
しゐるとおやつになつた。枝豆だつた。今夜も郡矢

は来てくださった。茂木先生はたいぶよくおなりに  
 ったやうだ。寢床用（枕）の時は起さていゝうつし

五



紀伊半島



九月八日(土) 曇後晴

今日は第二目の授業をした。時間表は  
 國語、國史、算数、体育、音楽、時間。飛行機の整着に  
 入った。國史は自修だった。算数は、四捨五入  
 をした。わり算で、出来てない人はしゆくだいた  
 四時間めは興助先生が自修をいゝる。こおのしや  
 ったので自修をしてゐると喜門先生が五年男子  
 といふいよにボールを教へてゐた。もう明日  
 は球技大會だ。今日いゝら練習しても急にそんな  
 に強くなるはない。明日はただ(勝つ)の一念で戦は  
 なければ勝てない。すんでからお教に歸り、  
 トランプをしたり、二号室に新聞を見に行つた。  
 原子爆弾の焼灼は、あんまりすごいのではつくり  
 してしまつた。  
 明日の球技大會は一回でも勝たなければ、

九月九日(日) 雨



毎日じめじめする日がつづく。今日の全校鍛練は  
 外で思ひきり出来ないのだ。全校鍛練は雨天体操  
 場でやつた。体操がすむと右手でバントをおこし、右足の  
 親指を左手でつかみ、相手にぶつかかり相手の手をはな  
 させるかたはまかするのだ。私の相手は野村さんだつた。  
 それから、五六年、二三年に分れて、トウにキウをした。  
 雨天体操場を、半分に分けて、甘のちで五六年はやつた。  
 各組、大將が出て、ジャンケンをして、一組二組をさめた。  
 私達は五組で四組の大女と、するのだ。始めは一組の  
 六女と、二組の五男で、合をした。始めの中は五男が負け  
 ておたが、後になると、段々勝つて来て、たうたう、二組は  
 全めつし、二組の勝となつた。次は、五組と四組だ。  
 私は胸がわくわくした。だうか勝ますやうに、と神機  
 に心の中で祈りながら、合を始めた。最初は、五女  
 が勝つてゐて、れんうくが、とてもよくついたので、少し  
 氣がゆるんだが、段々、無理になつて来た。はつとして  
 勢を取りかへさうとしたが、もうだめだつた。外や



えん！  
えん！



九月十日（月） 曇  
今日は第三日の授業だ。だがめんな自修になつてしまつた。一時間めは飛行機の整備のかん字の全部書きをした。二時間めからは前掛を八百谷さんと作り始めた。三つをりぐけの所を三つをりぬひにしてしまつて、あめてて、めんなほさうとするともうお晝食になつてしまつたので、さりのいいところをやめて、お晝

九月十一日 檢



よくおろすして、ふわりにな。  
にうわやうニ学期に記とふけりすい

九月十一日（火）

今日は、四日めの授業だ。国語は飛行機の整備をわける。理科はカビのつづきで、ビーズメはなぜくさらないか?といふところをお習ひした。カビをお習ひした。始の中はカビなんかな、方がよいと思つてゐたが、お話をきいて聞かしてゐるうちに、カビはたまたまは困るものだとわかつて来た。

午後はおうくしてゐる内  
にお夕食になつた。お夕食  
をませてもう。お米軍  
ひをした。夜前さんの  
あうちで、少女の支をか  
いた。だいたいので、寢床用  
意まで、少女の友を讀ん  
でゐた。





九月十一日 (水) 曇

今日は第五日めの授業だ。朝會は六年と五年男子が波多製作所へいろいろ物を取りに行つたので三十分ぐらひ早かつた。それで、私たちは自修ばかりだった。本當はうば私達は圖書館なのだが、二時間めから寮に歸りかみ洗ひをするので行かずに、音楽室へ行つた。並木先生も六年生といつしよにぬらつてやつたので、自修をしてゐると、森先生が二階にいらつしや、とあつてやつた。あつると、與助先生が黒板に、十時より、國民學校、お裁縫室にて堀先生の講話と書いてゐらつしやつたので、私達はかみ洗ひはどくなるのかなと思つてゐると、將毎寮はかみ洗ひは午後とおつしやつた。堀先生のお話は疎開のことだった。午後はかみ洗ひとお風呂だった。かみ洗ひはしづらくはないのでとてもよい氣持だった。



九月十三日 (水) 曇

今日は六日めの授業だ。一時間めの算数はわり算をした。國語は飛行機の整備をくわしくしらべた。お習字は、自分の名前前の練習をした。私は小のでの先が取れしつたので、先生にいた、だいた、午後は寮に歸り、型紙に、かへ運動ぐつにはさかへせつけんと、手拭を持て、べん學校に行つてから、五年の左の列と四年生は、床屋さんに行つた。私が始めて床屋さんに行つた時の床屋さんだ。始めの三人がすむといはうくしてから右の列の三人が来た。私達がすんで歸つた時はもう音んな英靈むかへに行つていたかつた。吉村さんや小林さんや進水さんも歸つてゐた。行かうかと思つてゐると皆んな歸つて来た。夜寮に歸つてから、おボキマをいただいた。





曇時々雨


今日は、砂子谷國民學校に南風を取りに行くのだ。學校に行く時、ルックをせおって行った。ちやうど私は食事當番だったので、皆んなの水筒を持ち炊事場に行つてお湯をくんで來た。來て見ると、もうお食事は始つてゐるので、大急ぎでたべた。今日は、四年級下は、やめ山の方にし、ぜんのかぐさつに行くのだ。出發前に雨がぽつぽつと降つて來たので、大きい方がち五人、傘を取りに行つた。くわ山の横を通つてしばらく行くと、トンネルがあった。トンネルを出ると、すぐに休憩になつた。山の横を通ると、ただれ止めのやうな物が沢山あつた。砂子谷の郵便局と工場みたいな所を學校とまちがへて、と喜びの聲を上げ、てしまった人もあつたが、郵便局の前あたりまで來ると、こんどは、ほんとが學校が見え出した。學校は少し低い所にあつた。講堂にごさをはいてくたさつたので、その上にすはつて、少し休んだ。しばらくして、かう、學校の方とお式をした。お晝食の時には、おみそ汁を出して、ただいて、たべた。とてもおいしかつた。それかう、六年生は、大部分が申風を二つずつ持ち、持つていない人は、胡風を持つた。五年生は、男子が二つずつ持ち、女子は、一つずつだつた。ああ、水いてから、こんどは、少し行つては、休憩しながら歩いて、二度めの休憩をすませると、阿澤先生が、蛭をのんで、いるへびをおつかまへになつた。皆んなは、どんく、先に行つてしまつたが、私と八百谷さんと、佐竹さんと、河井さんと、芝田さんと、星合さんと、向笠さんだけが、のこつて、見えていた。ローゴとに、ぐつぐつと、口の中に入つて行く。あと、ひざがら下といふときに、急にめはれ出したので、

びつくりして飛びのいた。阿久澤先生が、さあもう行かう  
 とおつしやつたので、後について行くとき、芝田さんがつた  
 をいて、へびをさかきにする。蛙が出て来てしまった。  
 かい行くとき、ニイ度は、おさな黒いへびがいた。芝田さん  
 つかまへやうとする。阿久澤先生があつ。これは、いけた  
 へびとおつしやつて、傘の先でへびをおさうになつた。これ  
 はどくへびだと教へてくだつた。いつもならくたび取る  
 のに今日は、ちつともくたび取らずに愉快に  
 歸れた。まるで、お兄様がお父様と、お  
 友達と、遠足に行く時のやうな気が  
 した。歸ると有賀先生が



九月十五日 (土) 曇

今日は秋の入替様のお祭だ。朝食後、じふ六室で体動測定をした。二十五・〇になった。それからお宮のけいだい  
で、お式があつた。あんまり長いので足が棒のやうになつて  
しまつた。歩き出すとひざがとても痛がつた。午後は  
寮に歸るときにもち米を持  
つて行つた。ずっと自由だつた。  
先生方は、前田さんのお臺所で  
お赤飯をたいていつしやつた。  
行く時には、お赤飯を持って行  
つた。お夕食がおくられたので  
お米運びがすんで寮に  
歸るころは、もう暗くな  
つてゐた。





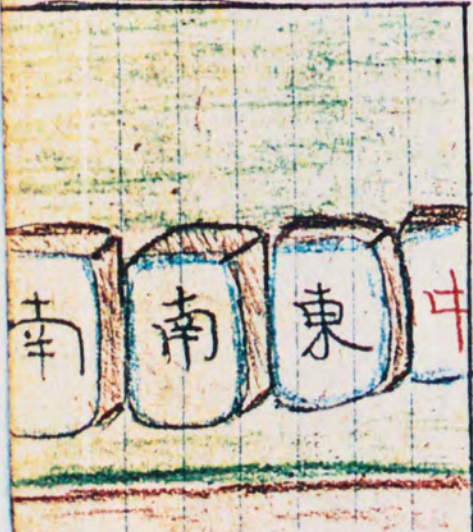
九月十六日 (日) 曇時々晴

女學校の方にも工場に行つていらつしやうた人達が歸つていらつしやうたので、私達は再び前の國民學校のお裁縫室に行くのだ。それで大掃除があつた。私達はお手洗のお掃除だつた。あんまりよごれてゐたので、前のドブに出し、ワミでこもつた。本でこすつたりしてあつた。前とは見ちがひなつた。つててもさつぱりした。それから食器を、お裁縫室にあさまだ時間があつたので、お庭でハンケチ落しをした。私は落さぬ、立ち上つた時に鬼が走つて来たのでおまめけになつてしまつた。今日の招魂祭もとても長かつた。午後はけんこうしんだんがあつた。私はぜんそく氣なのでとても心配だ。



九月十七日 (月) 雨

今日は休養日だ。午前中、寮に歸り、日記を書いたり本を讀んだりしてゐた。午へ行つて見ると八百谷さんが他の人達としゃうぎをしてゐた。日記を書いて、トラップをした。ぶん一人トラップをあぼへた。大勢でやるのも澤山あぼへた。一人トラップは、家では一つも知らなかつたのに。夜、をぢ先生達がマーゲヤンをしていらつしやうたので、見入つた。やり方はあぼへたがまだ名前をあぼへして



日記を書いたり見ると八百谷さんが午後寮に歸ると富山に来てかう、ずい

九月十八日 (火) 雨

今日は五日ぶりて授業をした。朝から風が吹きつけて、圖書館の入口の横の戸が、何回もたほれた。そのたびに、つとめた。喜門先生は、福野の方にいらつしやうたので、地理は自修で、瀬戸内海から門司までを書いた。國史も自修だつた。喜門先生は、途中ですぐおめれになつて入つていらつしやうた。私は、少々の友があつた。いたので、讀んでいらつした。午後は寮に歸つて自修だつた。私は、まこちやんや、八百谷さんや、菅村さん達と、二階の奥の部屋でトラップをした。それから下へおりて行つて昨夜あぼへたばつかりのマーゲヤンをした。名前もあつたが、ただけがわからぬ。夜、い電して、何々電氣がつかないの、大聲でいろいろ歌を歌つた。



九月十九日 (水) 晴

今日は二日めの授業だ。國語の時、飛行機の整備の考査があつた。書取、かなふり、かな使ひだつた。算数は公約數をお習ひした。とてもかんたんだ。体操は自修だつた。午後、寮に歸る時考査をかねてゐた。九月十九日、三占でおもにかなふりをまちがへてゐた。寮に歸り、お風呂とみ洗ひだつた。二班は、お風呂の中でみ洗ひをした。夜、有賀先生がハイゲを讀んでくだつた。





九月二十一日 (木) 晴時々曇

今日は、いなご取りだ。南風御飯の  
 おべんとうをつめていた。食器は  
 一班の方に持つて行つていただいた。私は  
 一班の方だが、食事當番なので山崎さんに  
 持つて行つていただいた。お宮のけいだ  
 いで朝會をすませた。前田察の前を  
 通り、礪波橋の方に行つた。男子の方  
 はもう取り始めた。私達もいっしょから  
 袋を取り出して、取り始めた。袋に入れ  
 ると中で、びよんくはぬる。こがぬ色のいなごが道へ  
 びよんくはぬて出る。お野菜は、少ししかないので六年  
 生だけで取りに行き、私達は礪波橋の前で取つてゐる。  
 いばらく取ると前田察と、清波察は、かはらへおりて、お  
 べんとうをいただいた。おべんとうをすませると、遊んだ。  
 歸りは並んだままだった。察に歸るとたなができてお  
 た。うれしいなと思つてゐると、しばらく休んだあとで  
 お部屋がへがあつた。私はすぐうらんだ。冬物と、學用品  
 品と、何でももない物と、衣るいに分けた。一番上のたな  
 と、二番めのたなは冬物、三番めと四番めに衣るいと  
 何でももないもの、五番めと一番下に  
 學用品を入れた。



九月二十一日 (金) 曇

今日は、五ノ男は作業なので私達は、お宮の境内で自修だ  
 った。しばらくの間、石黒察の前で、一、二、三、四、五、と、  
 ヒキウをじた。すませ、石段を上つて見ると、四年以下  
 は、リーレをしてゐた。私は日記を書いたり、あみ物を  
 したりした。午後、寮に歸り、  
 八百金さんに小包が来てゐて、その中  
 に寫眞帳があつたので、それを見  
 せていただいた。八百金さんの小さ  
 い時の寫眞だつた。それから、お  
 家の、童更(こより)を聞かせていただ  
 いた。それが、うひな知の部屋で  
 発表會に何をやるか、きめた。  
 五年生は、童えうげさのぞき目  
 がねをすることになった。  
 夜、又寮に歸ると、ひな菊の部屋で、やぐをきめた。  
 私は海のかもめになつて、おゆうぎをやることにな  
 った。

九月二十一日 (金)  
 今日もお宮の境内で自由だ。もう明日は発表會なの  
 で、私達は、あんまり目のつがない所、昨日きめた  
 のぞき目、かねを練習した。おさる  
 の酒買ひの歌がよくわかんないの  
 で、紙にうつした。ふしもよくわかん  
 ないの、で、追水さんに、来てもらひ  
 歌つてもらつた。おゆうぎもまた  
 よく出来ないの、で、めいぐで練習





した。午後練習して見ると出来たので何回もく

練習した。夜寮に歸ってから先生に見ていただいた。

九月二十三日(一日)

今日はおひがんの御中日で發表會だ。食器洗ひをすまで少ししたと、お裁縫室を座席とし禮法室との間をぶたいにし、始まった。お裁縫は一番始めだ。小馬の時や海の時には先生が後で音をたててくれた。た。四年女子は物まぬ。三年女子はこぶ取り。ごいさん、本田寮は盆おどりだった。盆おどりもこぶ取り。ごいさんもとて上手だった。三都六年は思ひ出の軍歌集を歌った。終るとこいとう先生と宮地先生がトランプとお話をしてくださった。こいとう先生はお話をしてくださった。宮地先生は神戸仲町二丁目のお話をしてくださった。午後はづつとお裁縫室にゐた。夜は今日はおひがんなら。ごいさん。沢山出たが一部六年がとなりで不へいもいつていたの。まうなかつた。先生方の面白。歌も不へいで消さぬ。まつた。寮に歸つてから、お家の方に、もう一ぺんして、見て。ただいた。初美さんは、ア。ルのおどりを、して見せてく。ださった。



九月二十四日(月)

今日は第四日の授業だ。こいとう圖書館で。一時間めは國語で、職員に入つた。職員は、は。句。た。始めておなう。は。する。の。た。地理は、神。戸。か。ら。下。開。まで。を。特。急。を。出。し。て。し。た。お。裁。縫。は。あ。た。り。づ。り。を。し。た。午。後。は。寮。に。歸。り。自。由。だ。つ。た。の。で。手。袋。を。あ。ん。だ。そ。れ。か。う。ご。こ。か。の。お。父。様。が。下。で。手。品。を。し。て。見。せ。て。く。だ。さ。つ。た。い。う。く。な。手。品。を。お。ぼ。へ。た。み。ん。な。た。ぬ。は。な。ん。だ。と。思。ふ。も。の。ば。う。か。り。だ。つ。た。夜。奥。の。部。屋。で。レ。コ。ー。ド。を。聞。か。せ。て。い。た。だ。い。た。ま。ん。ざ。い。や。落。語。が。あ。つ。た。一。番。い。い。な。と。思。つ。た。の。は。(あ。ゝ。世。は。ゆ。め。か。こ。い。ふ。の。だ。つ。た。)

九月二十五日(火)


今日は、お。授。業。本。は。お。宮。境。内。で。や。つ。た。授。業。を。始。める。前。に。道。具。を。前。田。寮。に。お。い。し。て。来。て。し。ま。つ。た。の。で。取。り。に。行。つ。た。午。前。中。は。全。部。自。修。な。の。で。そ。の。間。に。秋。と。い。ふ。は。い。い。な。と。思。つ。た。午。後。は。寮。に。歸。り。あ。み。物。を。し。た。お。や。つ。に。乾。パ。ン。を。い。た。だ。い。た。夜。寝。床。用。意。の。時。に。明。快。ス。ラ。ッ。を。讀。ん。で。い。た。だ。い。た。






九月二十八日 (金)

今日もお牧業はお宮の境内でもった。一時間めの音  
樂は自休で、國語は石山の前でやつた。算數は分  
數のたし算とひき算をした。私は番町小学校で  
少しおならひしたのですぐ出た。午後は實業に  
歸つて、お風呂にかみ洗ひした。私はかみ洗ひ  
と、お風呂の間に、お洗濯をした。おみやげの  
乾パンをまだ食べてゐる。牧場に  
武川先生がいらつてやつた。




九月二十七日(木)

今日は五男がとこ屋さんへ行つたので、私達は寮で勉強をした。換業は國語だけしかなく、はい句のことについておならひした。さうしてこの間作つたはい句のよく出来たのを讀んでくれた。おのは、三つお讀みになつた。午後には寮に歸つてマーヂャンをした。それからははい句を作り、乾パンをいただいた。夜、私達の作つたトマホをいただいた。七時から返省會をした。一番多く出たのは、お食事のことだつた。



今日は休養日だ。午前中荷物の整頓をした。すませる  
と、あみ物をした。親指の所まであめた。もうじきだ。始め  
てでよくぬからないので八百谷さんにおそはりなぐう  
あんだ。今考へると、赤にして、その間に桃色をいれればよか  
ったなと思つたが、あみ物はすのがいやな  
のでこんどの時にした。午後も寮に歸  
り手袋をあんだ。三時半に乾パンのお  
やつがあつた。野村さんはもうがた方  
が出来たのだ。ううやましい。私も早く  
あみたと思つた。



九月二十九日 (五)

今日は第一日めの授業で、圖書館でやった。朝會は、  
お宮の境内でした。一時間めは地理で四國の北をならひ  
した。二時間めは圖工で自修だった。三時間めと四時間め  
は、算數で分數のかけ算、割り算をした。午後は、  
寮に歸り、少したってからまことちゃんのおばあ様ね  
お家の方にさんぽに行つた。歸りに若江國民の運動  
場の前でおやつをいただいた。どこかで山羊が鳴いてゐ  
る。夜、百合子さんの持つていかつし  
やつたまつたけを見せていただいた。





九月三十日 (日)

今日は午前中各寮ごとにいたご取りだ。前田寮は活波寮といつしよに取った。取つてゐる中に袋がやぶけてしまったので萩原さんに入れていた。すると小林さんが袋をかきとってくださったのでその中に入れた。深まる所にちやうどとちやうどと手を出すと、ぴよんく。で飛び出るの取るのに困ってしまった。先生や六年生が作ってくださった大根曲の前を通つて歸った。午後は寮舎の月末大掃除で、冬物を出した。しまつてあいた毛糸も出した。お三時に前田さんのお家で作つてくださったうどんと昨日いただいた柿と私達の作つたとまとをいただいた。



十

月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

十月一日 検  
進歩のうしろへ  
こり勢でね



コンナニ

イナゴガ

トレタワ



十月一日 (月)

今日は第二日めの授業をした。国語の時間はこの間作った俳句をどれがよいか、えらび出した。俳句を書いた紙をまはして、他の西洋紙に書いた。国史は都大路と國分寺を終った。算数は阿久澤先生が何々いってうらないのでへんだな思っている。四時間めが終ると上からおりていらつしやつたので、今日算数はどうしたのでもかとお聞きすると、めずれちやつた。とおつしやつた。午後は圖書館にゐた。日記を書いてゐると、先生が入つてゐらつしやつた。皆んなは大聲で、おかしなことをいふ。といった。

十月三日 (水)

今日は第三日めの授業だ。国語は俳句會をした。昨日えらんだ俳句の中で一番よい俳句を五つえらんだ。一度えらばれたら一點だ。私は二點取つた。地理は南四國をお習ひした。お裁縫は穴かがりをした。中々よく出来なかつた。午後は寮に歸り、あみ物をした。手袋は片方あめたが、何だか氣に入らないので、ほいほいしまった。夜、とても風が強くなつて来た。



おまひの  
道くささる  
赤トビが  
真夜中に  
通る小道を  
月照す

十月三日 (水)

今日は第四日めの授業だ。授業は西尾寮でやつた。国語は三日月の影に入つた。理科は、算数はかいつて、分冊のうらがひよせ算をした。先生のお話をよく聞いてゐる。水はよくめぐる。ぐめぐる。午後は寮に歸り、下でマーガンをした。すませてもうお入つてきた。だきそ水がうあみ物をした。片手、手袋をあみ上げた。

十月四日 (木)

朝、新しい先生が四人いらつしやつた。朝食後、新任式があつた。授業は西尾寮で第五日めをした。国語は三日月の影をやつた。算数は昨日のつづきをした。午後はお風呂で、おみせは四時で、堀先生ののお話があつた。疎開は三月までつづける、といふことだ。東京の様子の話であつた。夜寮に歸つてから、柿内先生と米山先生に御礼さつをした。



メラッシマイマセ





十月五日

今日も勉強は西尾寮でやった。授業は算数と  
理科。か、もった。今度の時間から算数と理科  
が勝先生になるので今日は阿久澤先生の最  
後の時間だ。今度の通分をやった  
西尾寮の宮本さんといふ方はと  
ても面白かった。午後寮に  
歸り自由だったのでもねはあそ  
びをした。夜頭が痛かったの  
で帰った。夜寝る前みんなが歸  
ってから歌の練習をした。  
アカノヤンガ

十月六日

今日は休養日だ。午前中寮に歸りお洗濯をした。  
私はしきりと寝間着をやった。それから出立用着  
まであみ物をした。午後は、皆んなおこしに  
行つたが、松と柳野さんは寮  
にのこつてゐた。今度岩丸  
先生が歸つてゐらつしやるま  
で阿部先生がやはりにゐ  
らつしやるのだ。夜、ゐらつ  
しやつたらもう、じをとお始  
めになつた。

